

INDEX

- *P1 ・「伝わるチカラを身につけよう」/「知りたい・見たい・参加したい」市民活動団体による公開学習会 参加者募集のお知らせ
・助成金講座開催予告
- *P2 ・令和元年度こまき地域づくりフォーラム開催のお知らせ
・自治基本川柳審査結果発表
- *P3 ・市民活動センターレポート
- *P4 ・まち×げんき×NOW！



参加者募集

「伝わるチカラを身につけよう」

～心を動かすプレゼンテーション～

参加費無料

共感を得るプレゼンテーションとは何かを学び、自分たちが活動している内容をどのようにすれば伝えるから伝わるようにできるかについても学びます。

日時：**2月8日(土)** 13時30分～15時30分

(受付：13時～)

場所：小牧市公民館 4階視聴覚室

対象：市民活動団体、ボランティア団体

または興味のある方

定員：40名(申込先着順)

※申込締切 1月31日(金)

■講師

一般社団法人

中部SDGs推進センター

代表理事 戸成司朗氏



参加者募集

知りたい・見たい・参加したい

市民活動団体による公開学習会を開催します！

参加費無料

第2回「こころのおさんぽ～入院中の子どもへの読み聞かせ活動から～」

《よみきかせ隊「このゆびとまれ」》

■日時：**1月25日(土)** 13時30分～15時30分

■場所：まなび創造館 多目的室1 ■定員：20名(申込先着順) ※申込締切 1月17日(金)

市民活動団体の活動を
覗いてみませんか？

第3回「発達障がい理解講座」《パパママサポートあおぞら》

■日時：**2月2日(日)** 13時30分～15時30分

■場所：市公民館 4階 視聴覚室 ■定員：30名(申込先着順) ※申込締切 1月24日(金)

申込方法：所定の用紙（市役所協働推進課、東部・味噌・北里の各市民センター、市民活動センター、市・市民活動センターホームページに用意）に必要事項を記入し、郵送、FAX、メールまたは市民活動センターへ持参ください。

問合せ先：小牧市市民活動センター Tel:0568-74-4011 E-mail:komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp

開催予告

「助成金講座」を3月に開催します。

※詳しい内容は決定次第『広報こまき』、市・市民活動センターホームページ等でお知らせいたします。

～地域の特色ある取組み発表会～を開催します！

と き **2月15日(土)**

13時～16時(開場:12時30分)

と ころ **小牧勤労センター 多目的ホール**
(小牧市上末 2233-2)

◆入場無料 ◆申込不要 ◆手話通訳あり



★コーディネーター

まち楽房有限会社代表取締役／中京大学現代社会学部講師

加藤 武志(かとう たけし)氏

問合先：小牧市協働推進課
☎76-1629

主 催：小牧市

発表団体(取組み)

【お互いの顔が見える範囲(自治会)で行っている取組み】

- ◆おたすけ隊(竹林区)…高齢者の生活の中のちょっとした困り事をお手伝い
- ◆安否確認訓練(小牧原南区)…黄色いタオルを用いて大規模災害発生時を想定した安否確認訓練を実施

【広い範囲(小学校区)で行っている取組み】

- ◆防災訓練(本庄小学校区地域協議会)…市や市民活動団体、企業等と協力して実施
- ◆包括サロン(サロン交流会)、オレンジカフェ(陶小学校区地域協議会)
…高齢者の安心した暮らしや地域のつながりづくりを支援

☆優秀作品

まちづくり
ひとりひとりの
ゆめづくり
小澤 剛

☆最優秀作品

市民です
胸張り生きる
街づくり
吉田 好美

街づくり
未来へつなぐ
人づくり
指方 隆司

**小牧市自治基本条例
審査結果発表表**

平成二十七年四月一日に施行されたまちづくりのルールである自治基本条例をPRするため、自治基本条例をテーマにした川柳を令和元年八月十五日から十月十五日まで募集したところ、**総数三十名、九十四句**の応募がありました。

ここでは、最優秀作品一句と優秀作品二句を紹介します。

知ってこ!こまき

地域猫ってなあに？

地域猫活動を知っていますか？飼い主のいない猫を捕獲し、不妊去勢手術をして元の場所に戻し、地域全体で一代限りの命となった猫を適正に世話する活動のことです。そして、地域みんなで世話をする猫のことを地域猫と呼びます。「猫が増えて困っている」——それを解決する手段でもあります。不幸な猫を減らしたい。人と猫とが幸せに共存できる取り組みなのです。



協働啓発事業

10月31日(木)

まちを育む市民と行政の 協働交流会

於：市役所本庁舎 601 会議室

協働のパートナーとなる市民（市民活動団体）と行政が互いを良く知り、顔の見える関係を作ることが目的に、市民活動団体 19 名、行政 20 名の参加による交流会を開催しました。テーマは“みんなが輝くまちづくり”。今回はワールドカフェ方式を取り入れ、膝を突き合わせて、より近い距離で自由に意見を述べ合いました。意見が書き込まれた模造紙は会場内に貼り出し、皆で情報共有しました。



▲丸い模造紙を膝に乗せての意見交換



▲意見を書き込み

人材育成・研修・交流促進事業

11月29日(金)

まちのかたり場

於：市公民館講堂

コーディネーターに（特非）岡崎まち育てセンター・りたの事務局次長三矢勝司氏を迎え、「やる気も担い手ももりもり湧いてくるまち育て」と題して、各地で実際に行われた住民主体のまちづくり事例を紹介していただきました。その後地区ごとに分かれたグループで、「こんなまちに住みたいナ」をテーマに意見とアイデアを出し発表しました。それぞれの意見に対し、三矢氏より実現するための具体的なアドバイスをいただきました。

（参加者 24 名）



▲三矢氏を囲んで参加者全員集合

人材育成・研修・交流促進事業

12月3日(火)

第 2 回 市民活動団体交流会

於：市公民館講堂

7月の第1回交流会で訪れた「にっしんわいわいフェスティバル」の報告、昨年度のこまき市民活動祭で繋がった団体により実施された協働事業の発表の後、令和3年度に開催予定の第6回こまき市民活動祭に向けてグループワークを行いました。こんな活動祭にしたい！こんなことやってみたい！など自由に話し、アイデアを書きました。たくさんのキーワードの中でこれというものに“いいなマーク”を付け、各タイムゾーンを膨らませました。（参加者 42 名）



▲どれに“いいなマーク”を付けようかな



▲多くの意見が書き込まれたワークシート

第 5 回

12月14日(土)

2市3町ふれあい協働フォーラム

※2市3町…小牧市・岩倉市・大口町・扶桑町・豊山町

扶桑文化会館で開催された第5回の区切りとなる今回のフォーラムは、“さあ、協働の舞台へ!!”とのテーマ通り、すべて舞台上で行われました。過去4回の振り返りとこのフォーラムで生まれた市町を超えた協働の成果発表、そして交流会。最後には全体を通してコーディネーターをしていただいた、まち楽房（有）代表取締役加藤武志氏による協働ミニ講座があり、「協働は、それぞれの良さや強みを持ち寄って、共に考え行動する ONE TEAM」と話されました。（参加者 140 名）



▲舞台上での交流会



▲協働ミニ講座

市民活動センタースタッフが
センターを飛び出して
市民活動の現場を
レポートします！

まち×げんき×NOW!

アレルギーっ子のつどい クリスマスローズ

学ぼう！アレルギーの基礎知識

アレルギーっ子のつどいクリスマスローズが、広くいろいろな人にアレルギーについて学んでいただくための講座を、11月30日（土）にまなび創造館で開催しました。

午前は「作ろう！バッククッキングで災害時食」を実施。親子で調理実習をしました。バッククッキングとは、ポリ袋に食材を入れて湯煎で火を通す調理法で、水を節約しながら、一つの鍋で複数の料理ができるなどの利点があります。また、一人一袋ずつパックすることで、食物アレルギーにも個別対応できます。バッククッキングは、アレルギーっ子が災害時にも心配なく安心して他の人と一緒に食べることができます。

午後は「学ぼう！アレルギー専門医による“アレルギー最新情報”」と題した、春日井市民病院小児科医・小林貴江先生による講義。学校給食でのアレルギー対応の話やエピペンの正しい使い方の説明などがあり、最も大切なことは、自己判断をせず、まずは専門医に相談することとお話がありました。質疑応答では次から次へと質問が飛び交い、親御さんの不安や悩みがとても切実なことがひしひしと伝わってきました。



▲ 全員で協力



▲ 皆さん真剣そのもの

【アレルギーっ子のつどい クリスマスローズ】
代表者/土方 裕美
設立/2006年 会員数/14人
活動内容/アレルギーっ子を持つ親同士の情報交換及び交流、アレルギーに関する知識の普及啓発活動

岩崎山の歴史と文化交流会

岩崎山の歴史を発見！！市民参加交流会“みんなで岩崎山を探検しよう”

10月26日（土）、小牧市民に岩崎山の現状と歴史文化を知ってもらうためのイベントが開催され、約60名が岩崎山に集合しました。

歴史探訪のコースが記載された地図と、文化財などの名称と写真が入った資料を持ちながら早速スタート。山道は5年程前に整備されたため、とても歩きやすくなっています。県指定天然記念物の五枚岩や名古屋城築城石垣の採石場を見るのはもちろん、ツブラジイの木々から「この辺りが昔海に近かったことが分かる」や、山の中で一番古い地蔵の前では「キリシタンの人たちが延命地蔵として村の口に設置したのではないか」といった、会員による貴重なお話をたくさん聞くこともできました。参加者は、子どもの頃岩崎山で遊んだ思い出話などをしながら楽しくコースを回りました。そして、長い歴史があり、数々の文化財も残るこの山を大切にしなければならぬと改めて感じていました。

代表の栗木さんは、「新しい家が建って周辺の景色が変わっても、この地域の歴史を子どもたちに伝えていきたい」と話してくれました。

【岩崎山の歴史と文化交流会】

代表者/栗木 英次

設立/2017年 会員数/16人

活動内容/岩崎山についての勉強会・交流会の実施(月1回)、市民参加型イベントの開催



◀ コース番号①刻紋のある
巨石の前で説明。コース
番号⑩まで順に探検

内部が見られない▶
箇所については
写真で紹介



編集後記 令和初のお正月は、いかが過ごされましたか？令和きっかけに年賀状じまいや SNS での挨拶に変えた人が増えて、年賀はがきの売れ行きが良くないと年末に郵便局員さんが嘆いていました。毎年元日に年賀状が届くことを楽しみにしている昭和生まれの私としては、日本の習慣が変わりゆくことに一抹の寂しさを感じます。(た)

小牧市市民活動センター 〒485-0041 小牧市小牧二丁目 107 番地 市公民館 4 階

TEL (0568) 74-4011 FAX (0568) 74-4070

E-mail komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp HP <http://komakici.jp/>

休館日 日・月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)